

# 福島第一原子力発電所 測定・確認用設備A系統から採取したALPS処理水の分析結果と2024年度第5回ALPS処理水海洋放出の開始予定日

< 参 考 資 料 >  
2024年9月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

●ALPS処理水について、2024年度第5回放出に向けたG4南エリアC群およびG4南エリアA群から測定・確認用設備A群への移送を2024年7月11日に完了しました。また、7月19日から測定・確認用設備A群の循環・攪拌運転を実施し、7月26日に試料採取を行い、採取した試料の分析を行っています。  
<9月23日までにお知らせ済み>

●採取した試料の分析結果から、放出基準を満足していることを確認しました。

① 測定・評価対象核種（30核種）：告示濃度比総和「0.078」（1未満を確認）

➢ 前回放出分より、2023年度の分析調査結果を踏まえ、原子力規制委員会の認可を受けた実施計画に記載されている選定フローに基づき、カドミウム113mを測定・評価対象核種に追加しています。（8月1日にお知らせ済）

➢ なお、カドミウム113mの分析結果は検出下限値未満でした。

② トリチウム：28万ベクレル/ℓ（100万ベクレル/ℓ未満を確認）

③ 自主的に有意に存在していないことを確認している核種（38核種）：全ての核種で有意な存在なし

④ 一般水質（自主的に水質に異常のないことを確認）（44項目）：基準値を満足

●外部機関（化研）の測定結果※も当社同様、放出基準を満足していることを確認しました。

●これらを踏まえ、9月26日から、測定・確認用タンクA群からのALPS処理水の海洋放出（2024年度第5回放出）開始を予定しています。

●ALPS処理水は、トリチウム濃度の薄いものから放出しており、今後は30万ベクレル/ℓ超を計画しています。引き続き、海水の迅速測定を継続し、希釈後のトリチウム濃度が1,500ベクレル/ℓ未満であることを確認しながら、安全な海洋放出を安定的に実施できるよう緊張感を持って取り組んでまいります。

※ ①測定・評価対象核種（30核種）、②トリチウム、③自主的に有意に存在していないことを確認している核種（38核種）を測定

# 【参考】処理水ポータルサイト「測定・確認用設備の状況」ページ



- 測定・確認用設備、A・B・Cタンク群のALPS処理水の分析結果（トリチウム濃度・トリチウム以外の放射性物質の告示濃度比総和）を掲載しています。

## 「ALPS処理水 海洋放出の状況」の画面イメージ



## ■ 処理水ポータルサイト 測定・確認用設備の状況

<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/measurementfacility>



## 「測定・確認用設備の状況」の画面イメージ

### 測定・確認用設備の状況

測定・確認用設備は、タンク10基（合計容量約10,000m<sup>3</sup>）×3群に分け、それぞれ「受入」、「測定・確認」、「放出」の3工程をローテーションしながら運用します。



### ALPS処理水の測定結果(2024年5月15日) ⇒放出基準を満足していることを確認しています

